

あ ざ み

第144号 発行 社会福祉法人 恵風会

〒930-2102 富山市山田宿坊1-8

TEL (076) 457-2301 / FAX (076) 457-2303

<https://keifu-kai.jp/index.php> E-mail azamien@knei.jp

新年度を迎えて

総括施設長 館谷明彦

日頃より、障害者支援施設あさみ園及び各事業所の事業運営に対しまして、ご理解ご支援を頂いておりますことに感謝申し上げます。

昨年4月以降よりコロナ感染症の、状況が改善したこともあって、日中活動や社会生活活動の諸行事が、徐々に実施できるようになってまいりました。

感染症法上の位置づけ変更後の対応については、引き続き従来の取り組みを継続するよう、指導があることから、マスクの着用、手洗い、こまめな換気を行い感染防止対策の徹底を行ってまいり所存です。

利用者の皆さんの安全・安心を保証するためには様々な危機的状況への備えも万全にしていくな必要があることから、自然災害発生時における事業継続計画を策定して、令和6年4月より実施しており、法人としての「新しい生活様式」に努めながら、利用者の皆さん安心・安全で快適な生活を送れるよう全職員が一丸となって取り組んでおります。

また、令和6年度障害福祉サービス等報酬改定では、障害福祉分野の人材確保のため、現場で働く方々の処遇改善を行うとともに、障がい者が希望する地域生活の実現に向けて、サービスの質の確保・向上を図る観点からサービスの質に応じた報酬改定が行われました。

一方では、生産年齢人口の減少や企業等における賃金上昇が著しい中で、多くの障害者支援施設・事業所では人員の確保・定着に苦慮しております。

こうした中でも、利用者の望む暮らしの実現に向けて、常により質の高いサービスを提供するために、利用者一人ひとりの思いをくみ取り、本人に寄り添った支援を提供できるよう研鑽に努めなければならないと考えております。

事業内容の検討・充実を図り、豊かな生活の実現のため保護者の皆様と職員が手を携えながら、施設の運営を進めてまいりたいと思いますので、今後とも一層のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

新任職員挨拶

退職者

富山市生活介護事業所
第2あすなる 所長

甲斐 慎一

多くの利用者さん、ご父兄、地域の方々、職員の方にお世話になり、三十五年の月日が経ち、この度、退職し帰郷することとしました。長い間、本当にありがとうございました。

新任職員（正規職員）

あざみ園 生活支援員
武田 沙友里

2025年度からあざみ園の生活支援員として働くことになりました。大学では、過疎地域における地域福祉についての研究や、卒業研究で持続可能な地域福祉についての研究をしてきました。まだまだ分からない事だらけですので先輩方から学びながら、利用者の方一人ひとりと向き合っていきたいと思っています。

新任職員（任用職員）

あざみ園

生活支援員 奥村 雅洋

あざみ園で働くことになりました。1日も早く慣れる事と「怒るな came 来た道じゃ、笑うな came 行く道じゃ」の気持ちを持って1日でも長くやっていきたいと思っています。よろしくお願いします。

生活支援員 平田 美代子

4月からやまぶき寮で勤務することになりました。私は利用者様に常に笑顔で接したいと思います。よろしくお願いします。

看護師 杉坂 静子

1月から入りました。皆さんと楽しい時間を過ごせたらいいなと思っています。宜しくお願いします。

調理員 山岸 桂子

3月からあざみ園の厨房で勤務することになりました。皆さんが毎日を健康に過ごせるような食事を提供していきたいと思っています。よろしくお願いします。

富山市生活介護事業所 第2あすなる

生活支援員 福岡 裕美

この度4月から常勤になりました。利用者の皆さまの笑顔が輝くように毎日一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

生活支援員 東 恵

4月から常勤になりました。利用者の皆さまの気持ちに寄り添ったあたたかな支援を目標に精一杯努力します。よろしくお願いします。

多機能事業所 このみ

生活支援員 片野 彰

12月よりご縁を頂きまして、このみで世話になっております片野です。定年後は主にトラックの運転手をしてきたり、幼稚園や学童保育を経験してきました。利用者方が楽しく過ごしていただけるよう、支援していきたいと思っております。よろしくお願いします。

生活支援員 小幡 優

5月からこのみで働くことになりました。利用者様が楽しく過ごせて頂けるように努力していきたいと思っています。よろしくお願いします。

職員研修参加報告

食中毒におけるBCP研修

第1あすなる 生活支援員

清水 千智

今回はあざみ園で保健所からの講師を招き、食中毒の研修に参加しました。ノロウイルス、ウイルスと細菌の違い、消毒方法についてお話していただきました。

・ノロウイルス↓加熱や塩素
・コロナウイルス↓
物に使用する場合 塩素
人の皮膚に使用する場合 アルコール
・インフルエンザウイルス↓アルコール
・細菌↓加熱やアルコール
（塩素の消毒液は次亜塩素酸ナトリウム濃度約5%の物で、家庭用ハイターを50倍に希釈することで作ることができます。）

塩素を使用する場合は、消毒液をかけた後10分間放置することで、対象物表面のウイルスを確実に不活化できます。嘔吐物や排泄物の処理は、感染拡大を防ぐために一人で行う事が推奨されています。アルコールには即効性があり、有効な場合は手指の消毒や、すぐに拭き取りたい場合に適しています。ちなみにアルコール消毒をする手がスルスーするのは、皮脂も一緒に溶けているためです。

ノロウイルスが施設内に入ると厨房が一時作業ができなくなったり、利用者さんや職員も下痢、嘔吐等の不調で苦しむこととなります。このような状況にならないために普段から手洗いを徹底したり、細菌やウイルスにあつた消毒方法をする事が大切だと分かりました。下痢や嘔吐の症状が出たら無理をせずに休むことも職場に迷惑をかけない一つの方法だと知りました。施設内では利用者さんの顔色をみたり、検温をすることが必要です。もし下痢や嘔吐を見つけた時は必ず塩素で消毒することが必要です。もし、コロナウイルスやインフルエンザウイルスが施設内で流行したときはアルコールで手の消毒を徹底することが必要です。今回学んだことを活かし、業務に取り組んでいきたいと思っています。

ウイルスと細菌の違いについてです。ウイルスは遺伝子で構成されています。遺伝子はタンパク質でできているため細胞分裂し増えていきます。一方で細菌は1つの生命体です。例としてはカンピロバクター等です。

消毒方法はウイルスや細菌の種類によつて効果的な殺菌方法が異なります。以下を参考にしてください。





かたくり寮



お楽しみ会

3月14日（金）にかたくり寮のお楽しみ会を行いました。
レクリエーションでボウリングや風船トスをして、皆さん楽しんでおられました。今回はいつもより豪華なデザートやコーヒーを準備して、おやつ会を開きました。美味しそうに食べられている姿が印象的でした。食事後は塗り絵を行い、皆さんそれぞれに個性溢れる作品を作っておられました。



みずほ寮



3月17日（月）にみずほ寮のお楽しみ会を行いました。コスプレに身を包んだ職員と一緒に食堂で歌ったり踊ったりしながら笑顔があふれるにぎやかな時間を過ごしました。その後おやつ会を開き、カフェラテと苺のクレープ、パフェを皆さん美味しそうに食べて、良い気分転換になった様子でした。



やまぶき寮

3月12日、一年の労をねぎらい、お楽しみ会を開催しました。昼食はリクエストの多かったお寿司です。皆さん、ニコニコ美味しそうに食べておられました。午後は「かふえあざみ」をオープン。食堂を春らしく飾り、テーブルにはお花を置き、ウエイトレス（職員）がメニュー表を持って注文を聞きました。好きな飲み物とデザートを選び、カフェに行った雰囲気を感じました。皆さん穏やかな表情で、ひと時を楽しまれたようです。



羽根の家ニュース

利用者の皆さんは4月より新しい日中活動場所に移り、新しい環境や仲間とそれぞれの活動に励んでおられます。

高齢の女性利用者3名は、富山地域福祉事業所デイサービスぽびーを週2日利用され、足湯や入浴サービスを利用し、他の3日間はこのみのB型事業所を利用され内職作業に取り組んでおられます。

また、富山市生活介護事業所あすなろの利用を希望された3名の方は毎日、楽しく通所され、割箸作業やビーズ作業、レクリエーションなどに取り組んでおられます。

多機能型事業所このみの事業を希望された12名は配食班、内職作業、あざみ園の掃除や散歩、身体機能向上（リハビリ）やレクリエーションなどに楽しく取り組んでおられます。

婦中生活介護事業所つつじを希望された3名の方は毎日職員付き添いのもと、歩いて登所され色々な活動（内職作業やレクリエーション）に取り組んでおられます。

羽根の家での時間にもゆとりが生まれ、利用者、職員との関わりがより一層持てるようになり、平日の午後の1時間が有意義に過ごせるようになりました。



A Z A M I

富山市生活介護事業所

あすなろ

第1あすなろは富山市からの受託をうけ開所し、28年が経ちました。年月が経つにつれ利用者さんの重度化が進み、災害時の避難誘導等の安全確保や設備面の手狭さなどが課題となっていました。そして昨年度より富山市と法人とで協議を進め、保護者会説明会を経て、本年3月から新体制での活動を実施しています。

2階建て定員40名の第1あすなろでは、中軽度の利用者さんを中心に構成し、ビーズ、内職作業、社会参加活動支援を中心に提供しています。一方、平屋建て定員20名の第2あすなろでは、高齢化や介護度の高い方を中心に構成し、設備面等で活動しやすい環境で生活面や日常生活動作支援のサービス提供を行い始めました。利用者さんも環境の変化に慣れ始め、作業やレクリエーション活動を楽しんでいます。季節も暖かくなり、気分もワクワク、ウキウキと高まってきました。それぞれの特色を生かし、より一層安全、安心に楽しく活動できればと思います。



婦中生活介護事業所

つつじ

スペシャルデイ

R7.2.13

スペシャルデイということで「VITAマジック・玉すだれサークル」をお招きして、日本舞踊、マジックショー、南京玉すだれ、口笛を披露して頂きました♪

目の前で繰り広げられる様々な演目にびっくりするやら見とれるやらドキドキの1日となりました。



多機能型事業所

このみ

デイ合同お楽しみ会

昨年の12月にデイ合同お楽しみ会を開催しました。11月には利用者の皆さん向けの研修で「お金について」学ぶ機会があり、実際に工賃（本人支給金）としてもらったお金を使い、この日限りの模擬店「このみ商店」で買い物体験をしました。買った駄菓子などは家族へのお土産にする！と大事にとっておき、食べない方もちらほら。ジュース飲み放題のショップ也大繁盛！みんなホクホク顔で、楽しく、充実した時間となりました。



人事異動

・北滝 一善 あざみ園管理課 課長 管理係長	・山本 普弥 あざみ園管理課 課長	・高島 真由美 あざみ園管理課 主任 栄養士	・山崎 吉史 就労継続支援B型事業所どんぐり工房所長 サービス管理責任者	・竹林 修 あざみ園支援課 主幹	・田嶋 誠 あざみ園支援課 主幹 サービス管理 責任者	・柳田 美里 多機能型事業所このみ 主任 児童発達支援管理責任者	・平野 理絵 相談支援事業所あざみ 相談支援専門員 相談支援専門員
・坪島 浩三 第1あすなろ 所長 (事務) 第1あすなろ管理係長	・清水 千智 第1あすなろ 所長 (事務) 第1あすなろ管理係長 第2あすなろ 所長 (事務) 第2あすなろ管理係長	・塚本 寛子 第1あすなろ 生活支援員 あざみ園支援課 主幹	・福田 亨 第2あすなろ 主幹 所長代理 第2あすなろ 主査	・小森 朋美 第2あすなろ 支援係長 第1あすなろ 生活支援員	・中田 美峻緒 第2あすなろ 生活支援員 多機能型事業所このみ 主幹 所長代理/サービス管理責任者	・若林 千春 多機能型事業所このみ 主幹 所長代理/児童発達支援管理責任者	・青木 聡 多機能型事業所このみ 生活支援員 あざみ園支援課 生活支援員

赤ちゃん誕生

・1月12日
谷本柊文・静香支援員に次男 結
斗君が誕生しました。おめでとう
ございます。

・3月18日
別府支援員に長女 燈乃ちゃん
が誕生しました。おめでとうござ
います。

あざみ園

ボランティア

日赤奉仕団 (シーツ交換)

新規契約

1月27日付 山下 誠さん

契約変更

山下 拳央さん
(あすなろ→あざみ園)

2月1日付)

駒澤 理紗さん
(つつじ→あざみ園)

3月1日付)

多機能型事業所このみ

新規契約

4月1日付 石上 駆さん

婦中生活介護事業所つつじ

新規契約

4月1日付 面谷 夏那さん

富山市生活介護事業所あすなろ

契約変更

・3月1日付
第1あすなろ16人
⇔
第2あすなろ16人

グループホーム羽根の家

契約変更

どんぐり工房の閉所に伴い4月1
日より日中活動の事業所を変更し
ました。

・どんぐり工房21名

←
あすなろ3名

つつじ3名
このみ15名

編集後記

あつという間に桜が散り、新緑に包
まれる季節になりました。ついこの前
まで満開の桜を楽しんでいたのに、気
づけば木々が青々と茂り、季節の移り
変わりの速さに驚かされます。朝晩の
寒暖差が激しいこの時期ですので体調
に気をつけてお過ごしください。次号
もお楽しみに！

